

(令和3年度4月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
 大学・各附属学校とも同じくサーキュラー・国際交流留学プラザ・旧同窓会を含まない
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
 (電気:約26万円/日、ガス:約17万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

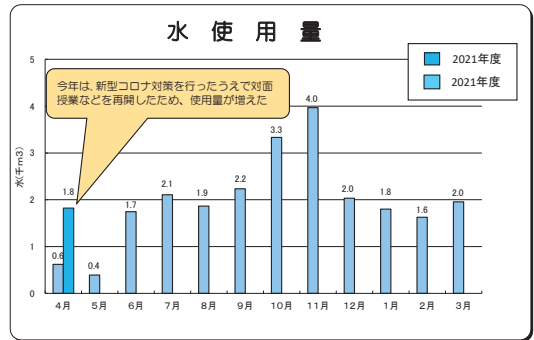
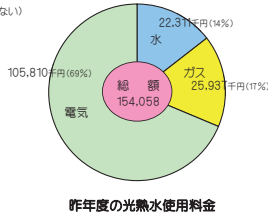
- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1) 目標値: 年平均1%以上の改善
 (省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に進めています。
 (1) 16年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
 (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

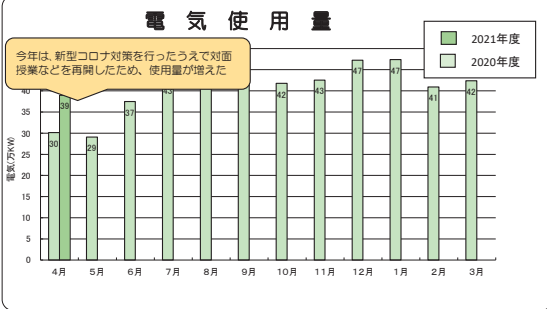
○ 省エネルギーの協力について

- 光熱水使用量・料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1) 教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2) エアコン使用時の室温は冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。
 (3) トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
 (4) 使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
 (5) 建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



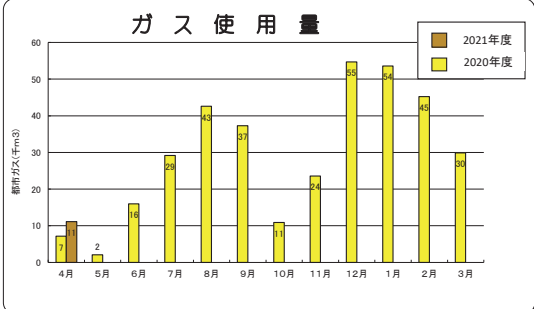
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果ができています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

文庫保管先 (Excel) : 電熱A: 各局別管理 棟別 光熱水使用量の公表 (年度)

(令和3年度5月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
 大学・各附属学校とも同じくサーキュラー・国際交流留学プラザ・旧同窓会を含まない
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
 (電気:約26万円/日、ガス:約17万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

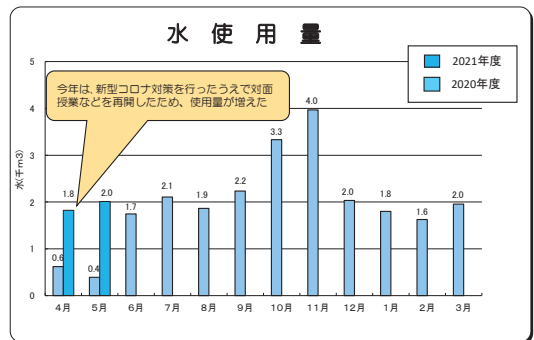
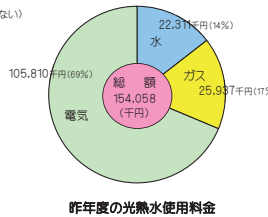
- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1) 目標値: 年平均1%以上の改善
 (省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に進めています。
 (1) 16年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
 (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

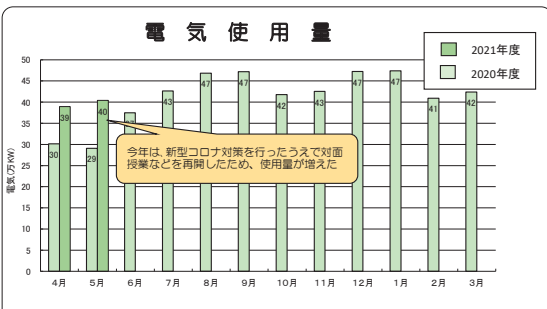
○ 省エネルギーの協力について

- 電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1) 教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2) エアコン使用時の室温は冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
 (3) トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
 (4) 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
 (5) 建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



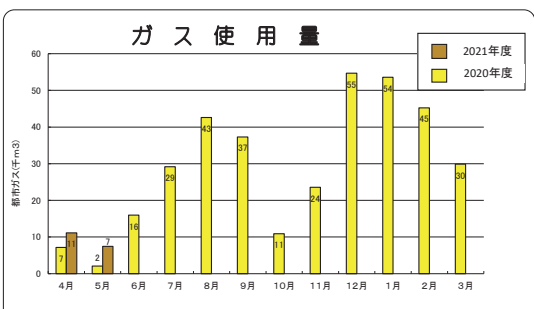
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果ができています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

文庫保管先 (Excel) : 電熱A: 各局別管理 棟別 光熱水使用量の公表 (年度)

(令和3年度6月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
 大学各附属学校とも連携し「省エネルギー推進交流留学プラザ」旧同窓会を含まない
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
 (電気:約29万円/日、ガス:約17万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

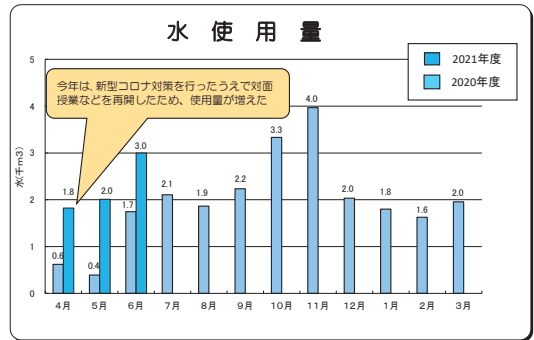
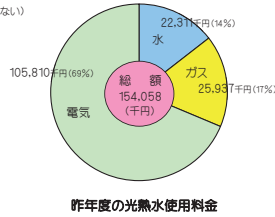
- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1) 目標値:年平均1%以上の改善
 (省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律上の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に進めています。
 (1) 16年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
 (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の新熟化を行っています。
 (4) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

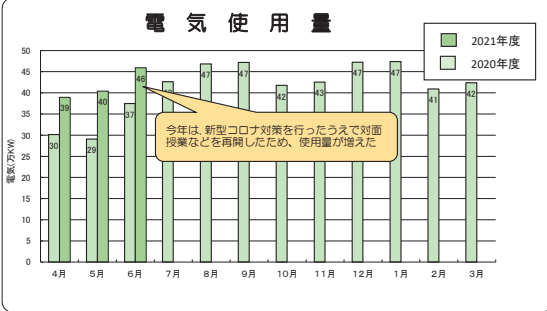
○ 省エネルギーの協力について

- 電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1) 教室や実習室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2) エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
 (3) トイレの暖房便座は、「節電モード」で使用して下さい。
 (4) 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
 (5) 建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



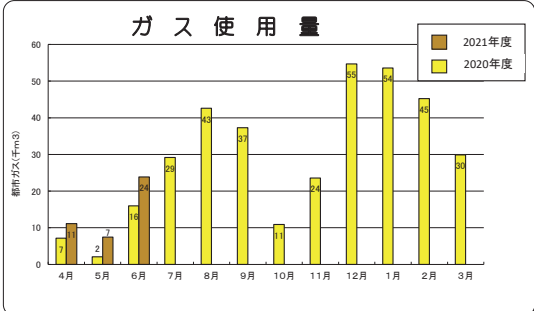
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果ができています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

文庫保管先 (Excel) : 電気A、ガス電力管理 棟別・光熱水量の公表 (年度)

(令和3年度7月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
 大学各附属学校とも連携し「省エネルギー推進交流留学プラザ」旧同窓会を含まない
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
 (電気:約29万円/日、ガス:約17万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

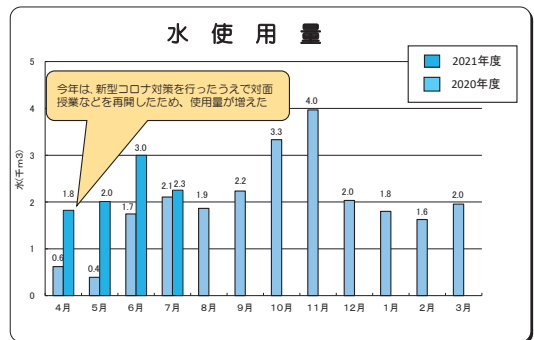
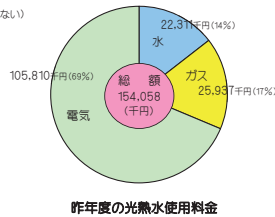
- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1) 目標値:年平均1%以上の改善
 (省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律上の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に進めています。
 (1) 16年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
 (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の新熟化を行っています。
 (4) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

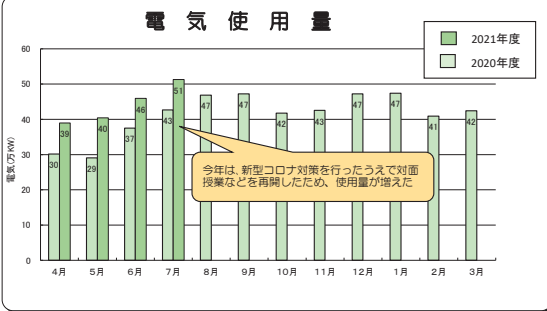
○ 省エネルギーの協力について

- 電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1) 教室や実習室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2) エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
 (3) トイレの暖房便座は、「節電モード」で使用して下さい。
 (4) 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
 (5) 建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



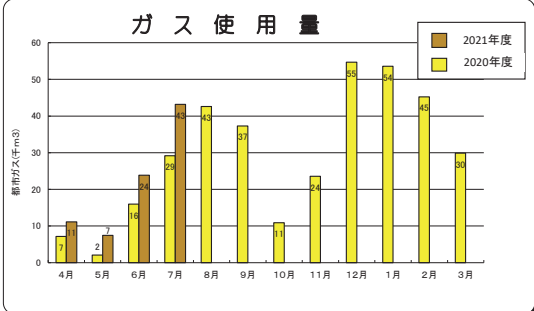
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果ができています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

文庫保管先 (Excel) : 電気A、ガス電力管理 棟別・光熱水量の公表 (年度)

(令和3年度8月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
 大学・各附属学校とも重しずみサーサー温暖化対策推進学芸部・旧同窓会を含まない
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
 (電気:約29万円/日、ガス:約17万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

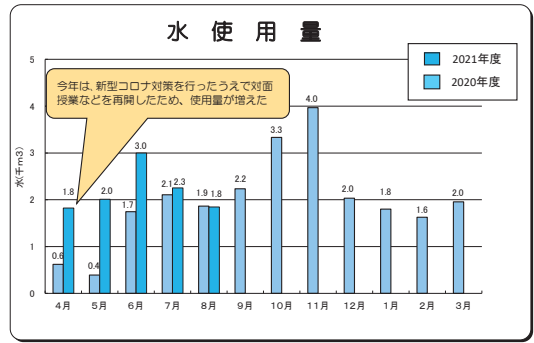
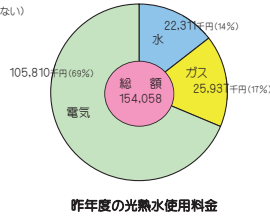
- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1) 目標値:年平均1%以上の改善
 (省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律上の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に進めています。
 (1) 15年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
 (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

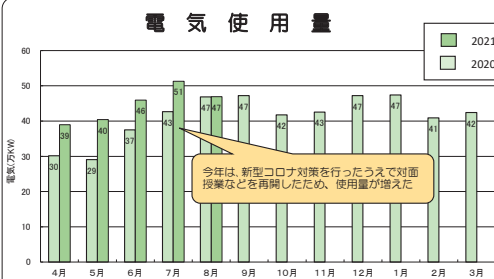
○ 省エネルギーの協力について

- 電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1) 教室や実教室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2) エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
 (3) トイレの暖房便座は、「節電モード」で使用して下さい。
 (4) 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
 (5) 建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



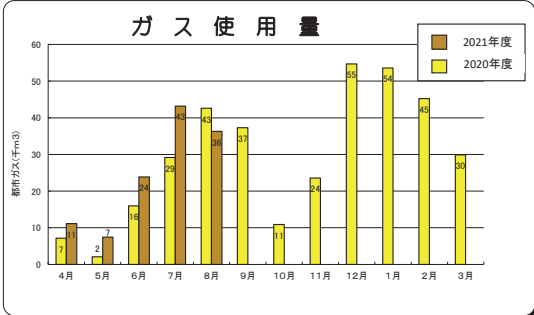
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことで、使用量が減少傾向にあります。

文書提供先 (Excel) : 電気A、各局の管理 棟別・光熱水量の公表 (年度)

(令和3年度9月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
 大学・各附属学校とも重しずみサーサー温暖化対策推進学芸部・旧同窓会を含まない
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
 (電気:約29万円/日、ガス:約17万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

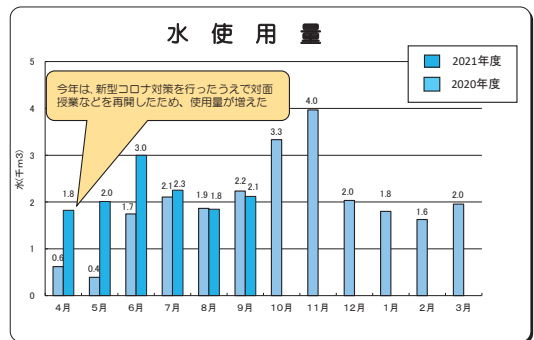
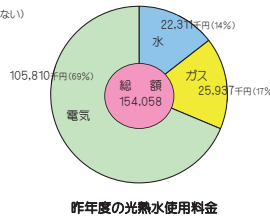
- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1) 目標値:年平均1%以上の改善
 (省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律上の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に進めています。
 (1) 15年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
 (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

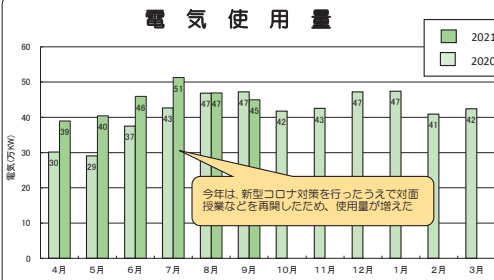
○ 省エネルギーの協力について

- 電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1) 教室や実教室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2) エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
 (3) トイレの暖房便座は、「節電モード」で使用して下さい。
 (4) 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
 (5) 建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



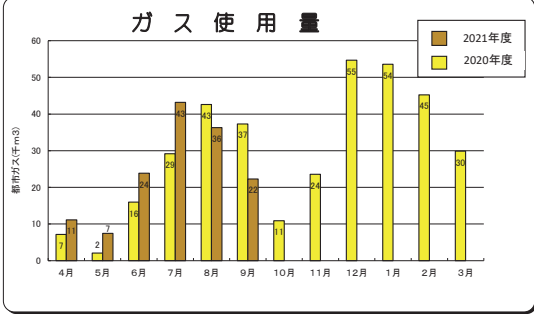
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことで、使用量が減少傾向にあります。

文書提供先 (Excel) : 電気A、各局の管理 棟別・光熱水量の公表 (年度)

(令和3年度10月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

光熱水量の現状は、下記のとおりです。

- 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億6千万円/年です。
大学・学附属学校・こども園(いすみナーサリー)・国際交流学生プラザ・旧同窓会は含まない)
- 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
(電気:約29万円/日、ガス:約17万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。

- 目標値:年平均1%以上の改善
〔(省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律〕の目標値とする。

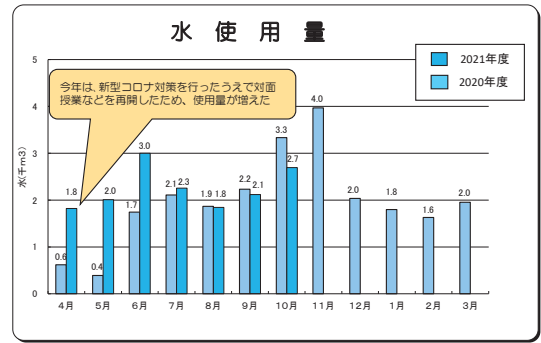
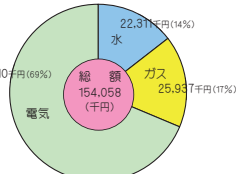
○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に進めています。
- 16年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 - 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
 - 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 - 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギーの協力について

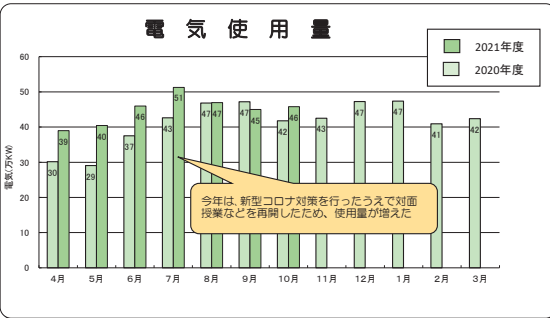
電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

- 教室や実習室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
- エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
- トイレの暖房便座は、「節電モード」で使用して下さい。
- 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
- 建物内の移動で階々3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



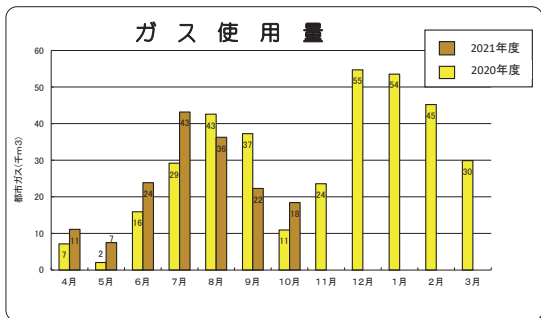
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

写真提供先 (EcoWin) : 環境A・B局の管理・検討/光熱水量の公表/掲載

(令和3年度11月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

光熱水量の現状は、下記のとおりです。

- 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億6千万円/年です。
大学・学附属学校・こども園(いすみナーサリー)・国際交流学生プラザ・旧同窓会は含まない)
- 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
(電気:約29万円/日、ガス:約17万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。

- 目標値:年平均1%以上の改善
〔(省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律〕の目標値とする。

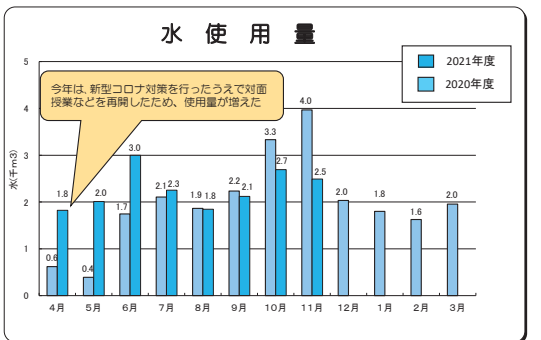
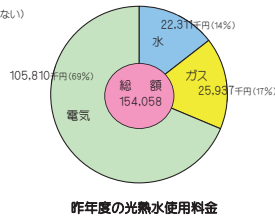
○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に進めています。
- 16年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 - 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
 - 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 - 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギーの協力について

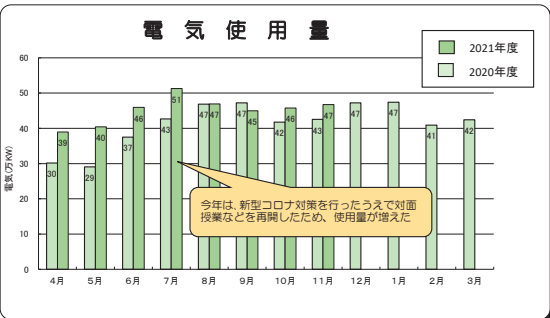
電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

- 教室や実習室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
- エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
- トイレの暖房便座は、「節電モード」で使用して下さい。
- 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
- 建物内の移動で階々3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



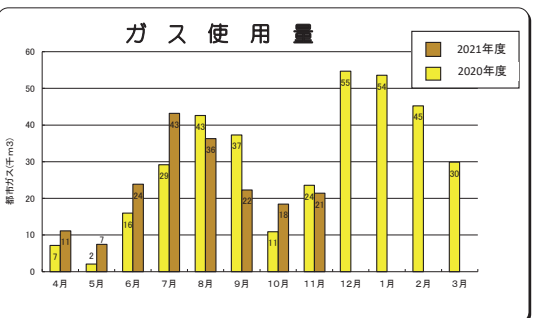
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

写真提供先 (EcoWin) : 環境A・B局の管理・検討/光熱水量の公表/掲載

(令和3年度12月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

光熱水量の現状は、下記のとおりです。

- 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
大学・各附属学校とも適いずみナーサー・国際交流学生プラザ・泊間会舎は含まない
- 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
(電気:約29万円/日、ガス:約7万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。

- 目標値:年平均1%以上の改善
【(省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

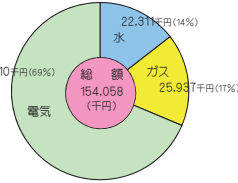
本学では下記の省エネルギー対策を積極的に進めています。

- 15年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
- 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
- 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
- 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季・百休実をを実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギーの協力について

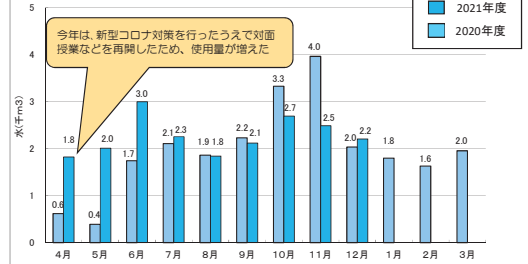
電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

- 教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
- エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
- トイレの暖房使用は、「節電モード」で使用して下さい。
- 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
- 建物内の移動で「階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



昨年度の光熱水使用料金

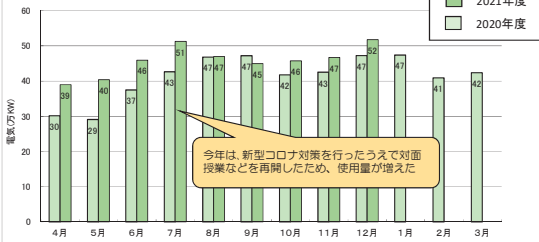
水 使用 量



<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

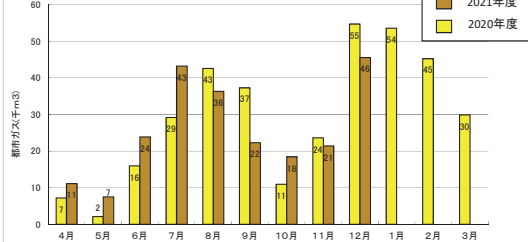
電 気 使 用 量



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。

ガ ス 使 用 量



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

文書保管先 (Excel) : 電気A・B・電力管理 様計 光熱水量の公表 (件数)

(令和3年度1月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

光熱水量の現状は、下記のとおりです。

- 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
大学・各附属学校とも適いずみナーサー・国際交流学生プラザ・泊間会舎は含まない
- 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
(電気:約29万円/日、ガス:約7万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。

- 目標値:年平均1%以上の改善
【(省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

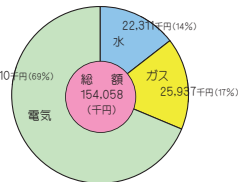
本学では下記の省エネルギー対策を積極的に進めています。

- 15年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
- 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
- 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
- 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季・百休実をを実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギーの協力について

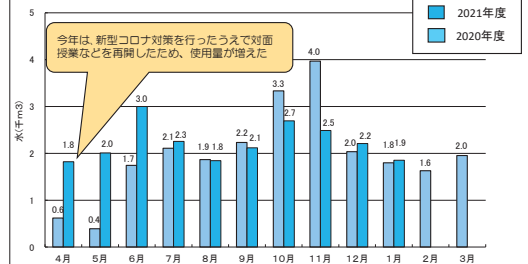
電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

- 教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
- エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
- トイレの暖房使用は、「節電モード」で使用して下さい。
- 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
- 建物内の移動で「階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



昨年度の光熱水使用料金

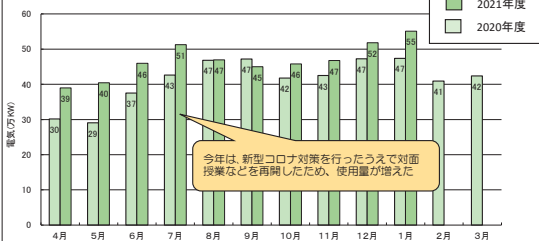
水 使用 量



<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

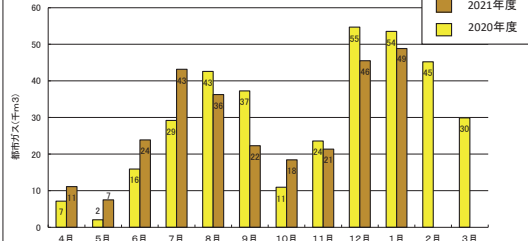
電 気 使 用 量



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。

ガ ス 使 用 量



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

文書保管先 (Excel) : 電気A・B・電力管理 様計 光熱水量の公表 (件数)

(令和3年度2月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
 大学・名附属学校・こども園(いすみナーサリー)・国際交流学生プラザ(旧同窓会)は含まない)
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
 (電気:約29万円/日、ガス:約17万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

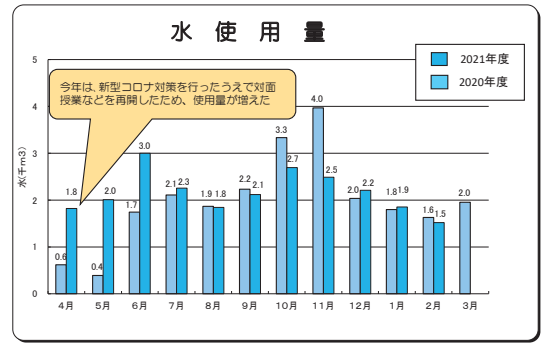
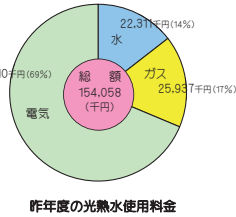
- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1) 目標値:年平均1%以上の改善
 (省工手法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。
 (1) 15年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2) 老朽化した省光灯具照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
 (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

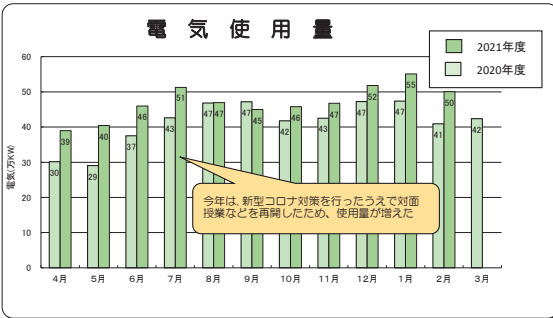
○ 省エネルギーの協力について

- 電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1) 教室や実習室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2) エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
 (3) トイレの暖房便座は、「節電モード」で使用して下さい。
 (4) 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
 (5) 建物内の移動で隔~3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



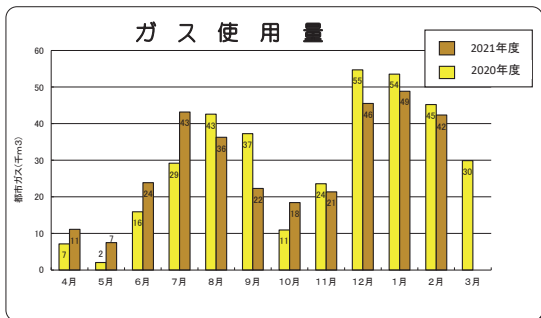
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果ができています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

写真提供先 (E:Excel) / 電算A:各局の管理/検針/光熱水量の公表/作成

(令和3年度3月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
 大学・名附属学校・こども園(いすみナーサリー)・国際交流学生プラザ(旧同窓会)は含まない)
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
 (電気:約29万円/日、ガス:約17万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

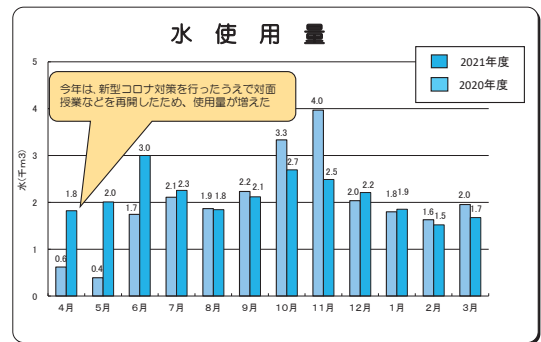
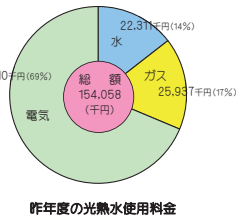
- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1) 目標値:年平均1%以上の改善
 (省工手法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。
 (1) 15年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2) 老朽化した省光灯具照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。
 (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

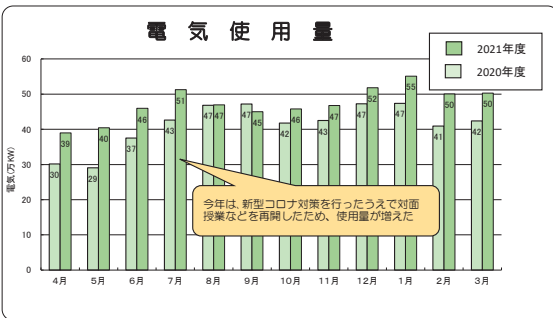
○ 省エネルギーの協力について

- 電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1) 教室や実習室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2) エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)
 (3) トイレの暖房便座は、「節電モード」で使用して下さい。
 (4) 使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
 (5) 建物内の移動で隔~3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



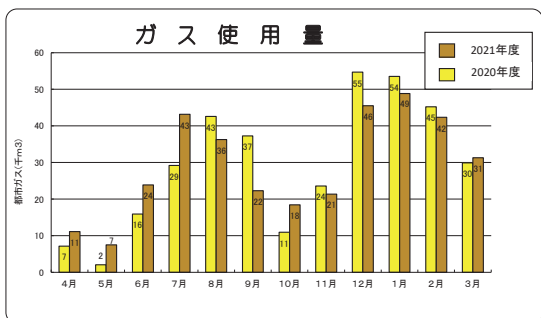
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果ができています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

写真提供先 (E:Excel) / 電算A:各局の管理/検針/光熱水量の公表/作成